

雌阿寒岳

○雌阿寒岳における最近4回の小噴火と火山性群発地震との関係

雌阿寒岳は、2003年11月以来、火山性地震が極めて少ない状態を27ヶ月間続けていたが、再び火道不安定の状態に入ったものと思われる。このような時期には、火口縁に噴石を飛ばすような小噴火がありうる。地元では登山をしないよう呼びかけている。

図に示した時期のいずれの小噴火でも、噴火開始の1~3ヶ月程度前から群発地震が先行して発生している。しかしながら、これらの群発地震だけを手がかりに日時単位の噴火時刻の直前予測は可能ではない。

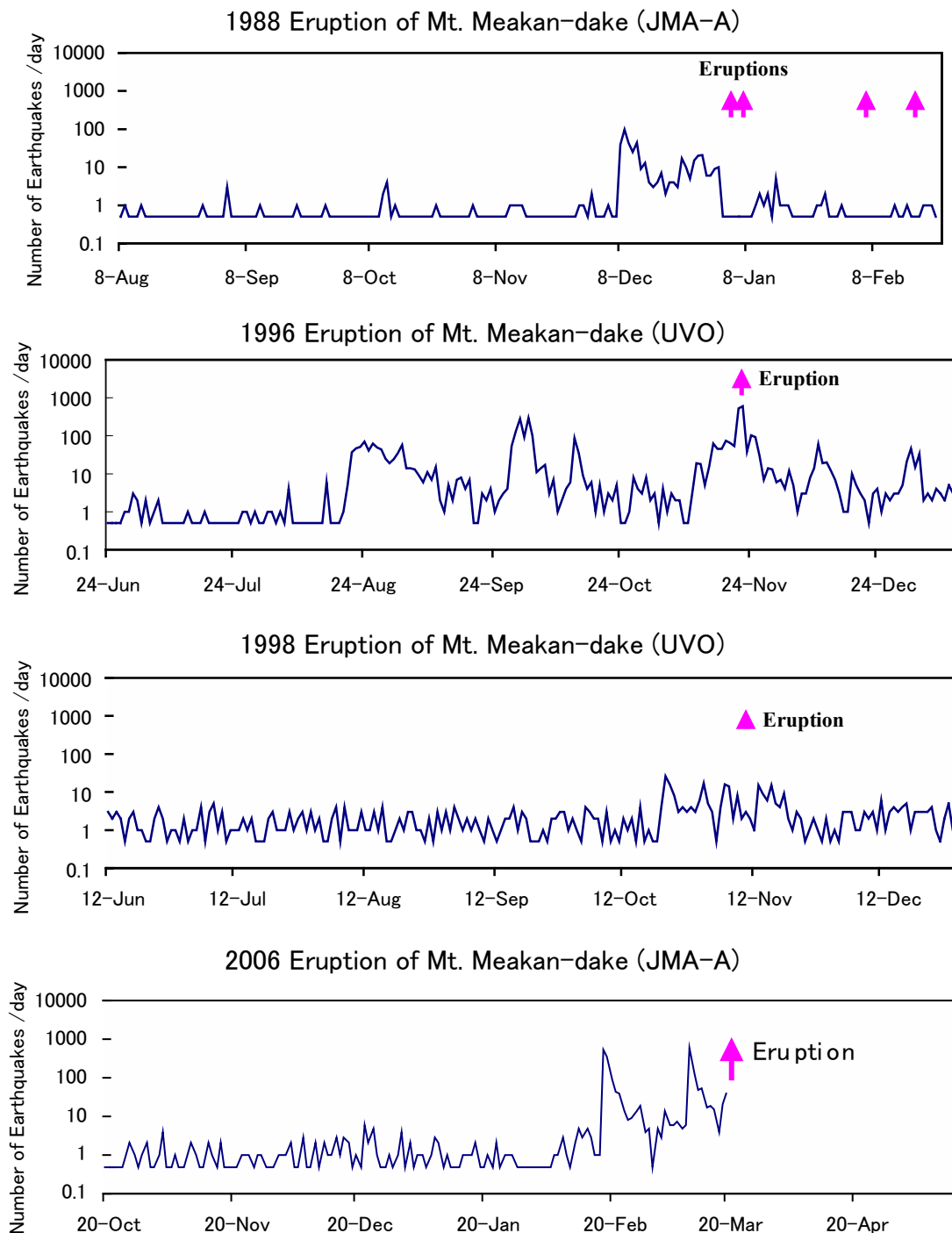


図1. 1988年、1996年、1998年、2006年の噴火直前の地震活動。

(岡田)
雌阿寒岳